



遠 総 号
平成19年 5月 8日

国土交通省道路局長 様

北海道遠別町長 川 島 茂



道路整備の中期的な計画の作成にあたっての意見等の提出について

このことについて、今後の道路政策や道路の整備・管理等についての意見を提出
いたしますのでよろしくお取り計らい願います。

(総務課企画振興係)

中期的な計画にあたっての意見

広域分散型社会を形成している北海道において、道路は、豊かな道民生活の実現と活力ある経済、社会活動を支えるうえで最も基本的な施設であり、その整備は、全道民が等しく熱望するところであります。

高速自動車道や空港などを利用した農畜産物等の販路・広域観光ルートの拡大、産業、経済、文化交流の発展など地域間の活性化のためにも、高規格幹線道路をはじめとする道路網の形成や災害時におけるルート確保、冬期間交通障害、交通事故など様々な課題を抱える道路の現状を把握し改善する必要があります。

都市間距離が長い本道は、本州と比べ高速交通体系整備が遅れており、都市間の移動時間の短縮を図る整備や、地域の可能性を発揮できる環境を整えるには、採算性や費用対効果のみでは判断させるべきではありません。

○ 重点化を進める上で特に優先度の高い施策

〈安心安全の確保〉

道内においては、医療過疎地域が多数存在しており、地域住民の生命に直接かかわる緊急高次医療確保のためには、都市病院へのルートは極めて重要であります。

当町といたしましても、現在整備中の開発道路名寄遠別線は、地域センター病院である名寄市立総合病院へのルート及び災害時の代替えルートとして重要な路線であり、地域住民も早期開通を熱望いたしております。

また、安全な冬期間の交通確保のため、効果的な除排雪の実施と、吹雪対策として景観に配慮した防雪柵の整備を推進していただきたい。

○ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

〈既存ストックの長寿命化〉

道路建造物の高齢化が進行し、今後急速に更新時期を迎える道路建造物の予防保全を推進すべきである。早期補修対応により延命化を図るなど道路施設の維持、修繕、改良、更新を計画的に推進していただきたい。

当町の国道等には狭隘橋梁が存在しており、安全性を確保するため拡幅などの改

修又は更新について要望いたします。また、安全性を確保しつつ日常管理の効率化を推進するために、沿道住民との協働による日常管理実施を検討すべきと考えます。

○ その他

自動車交通への依存度が高い本道における道路整備は、未だ十分とはいえず、人口が減少しても、地方の生活水準を維持し、郷土を守り、経済・社会活動の活性化、安全で安心できる国土の実現を図るためには、着実に整備促進することが重要であります。地域住民の生活向上と経済の発展を図るために、大動脈となる高規格幹線道路から住民に最も密着した市町村道に至る道路網の総合的・体系的な整備が必要であります。

揮発油税、自動車重量税等の道路特定財源については、本来の趣旨に基づき必要な予算措置を図られ、北海道の道路整備を着実に推進するよう強く要望いたします。